

都市再生整備計画 事後評価シート  
小針青山海岸周辺地区

令和2年2月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	新潟市	地区名	小針青山海岸周辺地区			面積	877ha				
交付期間	平成26年度～30年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	749.5百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 道路(国道402号及び西2-112号線道路改良事業、文京町五十嵐二の町線2号及び大学南地内雨水対策事業、国道402号飛砂対策事業、文京町五十嵐二の町線2号(安全))、地域生活基盤施設(青山海浜公園、寺尾中央公園) 提案事業 地域創造支援事業(飛砂対策事業(なぎさふれあい)、寺尾中央公園内カフェ設置社会実験)、まちづくり活動推進事業(勉強会及び制度設計(防災、狹隘道路等))										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(西1-94号線、西2-42号線)、下水道(真砂地内、五十嵐一の町地内)、地域生活基盤施設(青山地内、寺尾北地内、上新栄町地内)	削除/追加の理由		用地取得の難航等により計画期間内に事業着手が見込めない、また別事業での実施に変更した等の理由により削除。							
		提案事業	地域創造支援事業(コスボ吐口堆砂対策検討、真砂地内測量、浦山・有明雨水幹線接続工事、寺尾西5丁目雨水枝線工事、五十嵐第3雨水1号幹線接続工事、五十嵐一の町雨水幹線・枝線工事、南北縦断道路検討調査)、事業活用調査(飛砂対策事業効果調査、上新栄町内緑地整備計画)	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		指標1「冠水被害件数」及び指標3「自主防災組織の結成率」に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。							
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-		-							
		提案事業	事業活用調査(寺尾中央公園内休息所活用調査)	-		防災知識の普及・啓発の徹底、連携体制の強化を図るため、事業を追加。指標3「自主防災組織の結成率」に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。							
	交付期間の変更	当初	平成26年度～30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	指標1	冠水被害件数	件/年	19.4	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	10.0	○	あり	側溝等の道路改良や関連事業の雨水吐口の改良及び雨水貯留施設の新設による雨水対策が相互に効果を発揮し、地域の防災力が向上した。	-
					H20年4月からH25年9月までの雨水関連被害報告件数の年平均	H30					なし		
	指標2	除砂量	回/年	35	H20年度～H24年度までの過去5年平均	25	H30	18	○	あり	海岸道路(国道402号)の飛砂防止柵、人工砂丘等の対策により、車道部の堆砂が軽減され、除砂量が減少した。	-	
										なし			
	指標3	自主防災組織の結成率	%	41(35件)	H25	52(45件)	H30	56(48件)	○	あり	勉強会を通じた住民のまちづくりへの参加や防災施設整備、社会実験を活用した防災意識の啓発等が相互に効果を発揮し、結成率の増加につながった。	-	
なし													
指標4	歩行者・自転車の通過交通量(歩行者)	人/13h	83	H24	100	H30	43	×	あり	調査地点で開催されていた、新潟シティマラソン・新潟シティライドのコースや時期が変更され、国道402号の練習利用者が減少したことが影響していると考えられる。一方で、利用者から歩行者・自転車の安全性が向上したとの意見が寄せられており、安全性について評価できる。	-		
									なし ●				
	歩行者・自転車の通過交通量(自転車)	台/13h	133	H24	160	H30	61	×	あり		-		
									なし ●				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	その他の数値指標1	自転車走行空間整備に対する満足度(西区)	%	12.6	H25	/	/	/	14.8	○	国道402号の自転車通行帯の整備や堆砂の軽減、また、文京町五十嵐二の町線2号の安全対策が実施されたことで、自転車が安全に通行できる環境が改善され満足度の向上に寄与した。	-	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道402号における自転車利用者へのアンケートを実施した結果、改良前は路肩を通行することが多く、堆砂にタイヤを取られることがあり危険を感じていたが、整備後は自転車通行帯と歩道が確保され安全に通行することが可能になったとの意見があった。</li> <li>・同アンケートで、国道402号の歩道が整備されたことで散歩コースとして利用されているとの意見があった。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	勉強会及び制度設計(防災、狹隘道路等)		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				勉強会で検討された助成制度は財政上の課題等により実現が困難であったが、今後、市財政状況が好転した際などは対応を検討する。					
	持続的なまちづくり体制の構築	地域住民と連携した自助・公助・共助の防災体制づくり		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				西区区ビジョンまちづくり計画に基づき、自主防災組織を育成するため、組織の結成促進と活動支援を継続して行う。					

## 様式2-2 地区の概要

### 小針青山海岸周辺地区(新潟県新潟市) 都市再生整備計画事業の成果概要

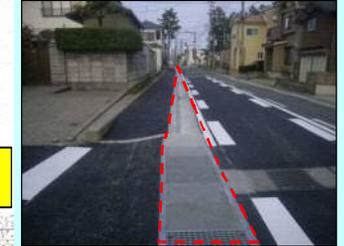
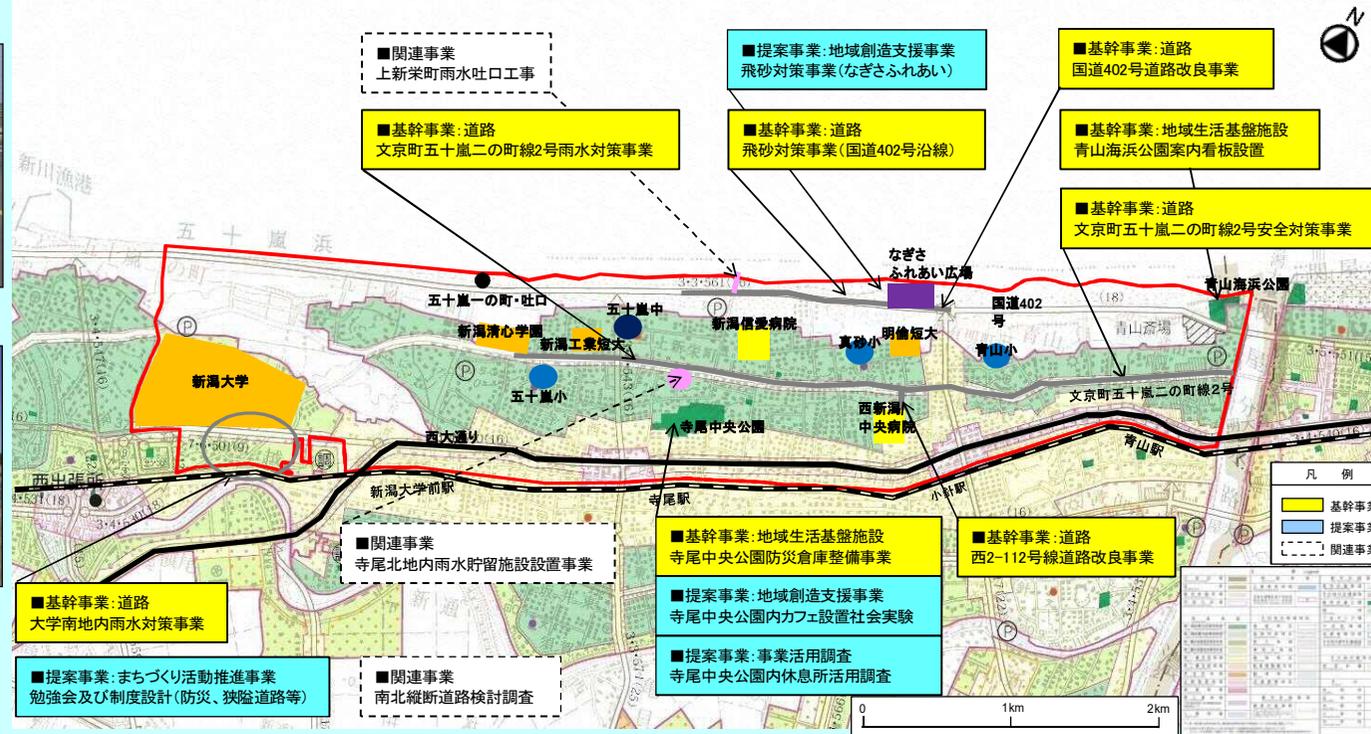
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:地区の防災力及び居住環境の向上を図り、安心・安全なまちづくりを推進する。 目標1:丘陵地と海岸に挟まれた地域特性による災害に対応できるまちづくりを進め、防災力の向上を図る。 目標2:歩行空間の確保や交通安全施設の整備等を行い、居住環境の向上を図る。 目標3:地域コミュニティの活性化及び官民連携により、自助・公助・共助の体制づくりを進める。	冠水被害件数	19.4 H25 (過去5年平均)	10.0 H30	10.0 H30	
	除砂量	35 H24 (過去5年平均)	25 H30	18 H30	
	自主防災組織の結成率	41(35件) H25	52(45件) H30	56(48件) H30	
	歩行者・自転車の通過交通量(歩行者)	83 H24	100 H30	43 H30	
	歩行者・自転車の通過交通量(自転車)	133 H24	160 H30	61 H30	
	自転車走行空間整備に対する満足度(西区)	12.6 H25	-	-	14.8 H29



国道402号道路改良事業



飛砂対策事業(国道402号沿線)



文京町五十嵐二の町線2号  
雨水対策事業



文京町五十嵐二の町線2号  
安全対策事業

**まちの課題の変化**

- ・雨水対策を一体的に実施したことにより、地区の防災力が向上した。
- ・国道402号の道路改良や飛砂対策により、緊急輸送道路の交通機能の低下が改善され、また歩行者や自転車安全に通行できる環境が整備されたことで居住環境の向上が図られた。
- ・防災知識の普及・啓発に関する施設整備や社会実験を行ったことで自主防災組織が増加し、地域コミュニティ及び防災体制が強化された。
- ・安心・安全な暮らしを守るため、更なる浸水対策や飛砂対策、狭隘道路における避難路としての機能確保等が必要である。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・地域防災力の維持・向上を図るため、災害時の体制づくりや防災知識の普及、防災リーダーの育成を図る。
- ・地区住民が主体となってまちづくりに参加し、行動する仕組みづくりへ発展させるための活動支援を行う。
- ・五十嵐一の町の吐口について、浸水対策・堆砂対策の強化を図る。
- ・国道402号における飛砂対策施設の適切な維持更新やアクセス道路の改善検討を行う。
- ・狭隘道路における避難路としての機能確保を推進するため、市財政状況が好転した折には私道周辺の居住人口を踏まえながら助成制度(案)の実現化を検討する。